



此方書る所御作の時つ村
 古傳はしるふる中安事
 年古事如くは傳は先般は
 此國傳の書傳を言れ
 らしと書地へは年近ま
 此の事傳話み伝の光
 年をも見地方のため
 大の傳を言世つとれり
 其深く言る事か
 子事は是より言様持
 上る事知りて事鄭重なる

才の禪をそと興ふるに
其深くまを謝す
子孫は是よりかたむけ
上を子初りて弟鄭重なる
中書方面に初りて高僧の
第五子計は女以て以て是
事は之を去る并言而海宗
子成は趣磨流に
其先は以て流する所
如斯くは

九月三十日 李多監

伯爵大隈重信閣下



東京早稲田
伯爵大隈重信閣下





金澤市

本多 政

